



勝光寺ホームページ

# 勝光

令和7年3月号  
庄原市三日市町  
276-3  
浄土真宗本願寺派  
勝光寺  
Tel 0824-72-0552  
Fax 0824-72-0910

## お彼岸

彌生三月、寒さと暖かさが交互に訪れる季節ですが、春は着実に足許にやっつけています。早朝、薄紫色にかすむ山々を仰ぐと、萌え出るいのちの息吹きを全身で感じとることができません。そして、大きな願いとはたらきにしっかりと包まれて、恵まれ生かされている私であるという思いがこみ上げてきます。

浄土真宗で最も大切なことは、阿弥陀如来の本願に遇うということです。「どんなことがあっても、必ずあなたをお浄土へと導きます。だから、折角いただいたいのちを、しっかりと生きぬいてください。」という仏様の願いに気付くことです。「願い」には「私が願っていること」と「私が願われていること」の二つの意味があります。仏様の大きな願いにまかせ、その上で私の願いを実現するために精一杯努力する生活が念仏者の生き方です。

トランプ大統領は、「アメリカファースト」と主張し、自己中心主義で政治・経済を押し進めようとしています。自分を中心でしかものを考えようとしないので、自分から、自分に都合の悪い人は、いてもらっては困る、消えてもらいたいということになります。

日本でも、「私の願い」だけが強調されることが多くないですか。「願われている私」の視点が失われているように思えます。

歎異抄に「念仏者は無碍の一道なり」というお言葉があります。「無碍」とは「障りなき」、つまり邪魔者はいないということです。仏様の願いに気がついたとき、今まで邪魔者だと思っていた人が、実は私にとって尊い人であったと見えてくるということではないでしょうか。

お彼岸をご縁に、「願われている私」について、考えて見ませんか。

# 春彼岸法座のご案内

3月19日(水)

9時30分から

朝席のみ

(9時から永代墓納骨者追弔のお勤め)

講師 武田正文 師



島根県邑智郡邑南町 高善寺 住職

広島大学大学院教育学研究科心理学専攻修了後、精神科病院で心理療法士を経験し、現在は法務のかたわら学校や企業でカウンセラーとして臨床に携わっていらっしゃいます。

臨床心理士、公認心理師、広島大学客員講師、*Psychology Today*「武田正文の仏心チャンネル」、山陰中央新報「教えの庭から」連載中、中国新聞セレクト「仏教と心理学でビジネス考」連載中など、多方面で活躍されています。

## 武田正文師の「ラムから

「不登校についての誤解」

不登校について詳しく考えてみましょう。

私は臨床心理士としてスクールカウンセラーをしています。学校で一番多くのご相談を受けるのが「不登校」です。長期化することも多く、本人だけでなく、家族、友達、先生、全員が「どうしていいかわからない」と悩むことになります。ここでは、スクールカウンセラーで浄土真宗の僧侶である私の立場から、「不登校」について考えていることをまとめてみようと思います。少しでもご参考にできれば幸いです。

### そもそも学校に行くべきなのか問題

これは最近では非常に大きなテーマになっています。オンラインでの学習環境も整ってきて、「そもそも学校いらぬのでは」という声も少なくありません。最近では

YouTubeのなかに、勉強のできる動画も増えてきました。非常にクオリティが高いです。これが無料で見れるのだから、確かに自分一人で学習をすすめることが可能になりました。私自身も寺子屋チャンネルというYouTubeをささやかながら運営しております。



さて、この「べき」論というのは、教育という分野においては非常に多く見られます。私はこれ自体が、無駄な議論だと考えています。どのテーマにおいても、「結局は人による」というオチになってしまいます。

学校に行かずに勉強できる人はそれでいいでしょう。学校に行かないと勉強が難しい人は学校に行つた方がいいでしょう。学校に行つて、苦しみ続けるくらいなら学校には行かなくていいでしょうし、勉強は嫌いだけど学校が楽しいなら学校に行けばいい。

問題は、「全員がこうするべき」という前提から目の前の子どもを見てしまうことです。全体のべき論に巻き込まれると、目の前の一人に対する最適解が見えなくなってしまう。自分の中にあるべき論を自覚して、そこから離れたうえで、子どもと向き合ってみましょう。今まで見えていなかった第三の選択肢がそこにはあるかもしれません。一人で見えないときは誰かと話をしてみましょう。スクールカウンセラーはそういう役割だと思っています。いつもと違う視点から問題を眺めた時に新たな気づきがあるでしょう。

## 比婆組門信徒連続研修「連研」受講者募集

「連研」と呼ぶ研修会をコロナ禍で中断していましたが、4年ぶりに復活します。

「連研」は、テキストを基にして車座で話し合う研修です。これを2回実施し、参加していただきます。浄土真宗の基礎を学び、仏教を深く理解していただく研修会です。勝光寺のご門徒様から、既に三十名の方が研修を修了されています。

4月から開講いたします。お問い合わせ及び申し込みは勝光寺まで。

### 受講について

令和7年と令和8年の2年間

4月 5月 6月 9月 10月 11月

第4土曜日 午後1時半から

午後4時半まで

計2回 開講します。

会場は 旧庄原市内の六つのお寺で行います。

4月会場 勝光寺

5月会場 西楽寺

6月会場 西林坊

9月会場 光縁寺

10月会場 西念寺

11月会場 妙延寺

研修終了後は、京都西本願寺への研修終了旅行を計画しています。

講師 比婆組（庄原市内）の寺院  
住職があたります。

### どんなテーマで学ぶか

「仏教の歴史と浄土真宗について」  
「葬儀や法事は何のためにするのか」  
「お浄土とはなんでしようか」  
「煩惱『承認欲求』などについて」  
「幸せとは何か」  
「差別と人権・戦争と平和」  
「社会問題と宗教」  
「豊かに生きる人生」

参加費 6000円

ただし勝光寺が負担します。

申込期間 3月31日まで

参加をお待ちしています。